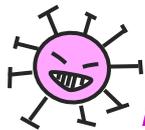


感染症に気をつけよう!!

2023年2月号

横浜市衛生研究所
感染症情報センター 2月17日発行



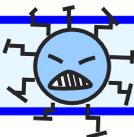
横浜市内の感染症流行状況



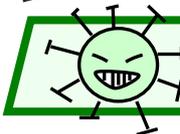
感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	大流行	減少	今後の感染状況について、全国的には減少傾向が続くことが見込まれています。** 【23.1号】
インフルエンザ**	注意報	横ばい	2月初めに、定点あたり患者報告数(7日間毎の平均)が10人(注意報レベル)を超えました。
感染性胃腸炎**	発生	横ばい	冬に多く、1月中旬にピークがありました。集団感染も報告されています。【16.12号】【ちらし】
梅毒**	発生	横ばい	患者の年齢は20～30歳代の若い世代が中心です。妊婦の報告もみられます。【無料・匿名検査】

* 国立感染症研究所 ** 厚生労働省

今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症



季節性インフルエンザ

感染予防のためには
原因になるウイルスのことを
よく知らなきゃ!

誰かにうつさないためにも
感染を広げてしまう可能性について**
調べてみよう!



	ウイルスが排出される量など	人にうつすかもしれない期間
新型コロナ	症状が現れる直前と直後 特に、高くなる。	症状が現れる2日前から 症状が現れた後7～10日間程度。
季節性 インフルエンザ	熱が下がるとともに減少する。 熱が下がった後も排出されて 2日程度は人にうつす可能性あり。	症状が現れる前日から 症状が現れた後3～7日間程度。